

## 〔畜産農家の声〕

# 楽しい農業

津山市 仁木 将恵  
(美作県民局畜産第一班)

農業を始めて40年、その昔は、水稻と養鶏、和牛2頭で生計をたてていました。

昭和57年、鶏を止めて、水稻と鶏舎を改築して和牛を飼い、山仕事を主にしました。

米の不作の時は和牛が高値で売れたり、和牛が安価の時は米が豊作だったり、牛も米も安価で困った時は、山が助けてくれたりしながら頑張ってきました。

平成5年より息子が後継者として農業を始めた頃は、水稻と和牛の二本柱でしたが、今は主に水稻と水稻の作業受託が主で、和牛は息子が好きで飼っている程度です。

厳しい農業ですが、反面楽しい農業です。稲や野菜を作ったり、牛を飼ったり、自然の中で自然に働き、米があって、野菜があつて、四世代9人家族でにぎやかに暮らし

ています。

前々から60歳を農業定年と思い、60歳まではと一生懸命働いてきました。定年後は少しゆったりとした生活をしたと思っていましたが、野菜づくりを始めて、ふれあい市に出荷するようになり、ますます忙しくなっています。

今は、野菜作りが楽しく、冬の間は白餅、豆餅、かき餅等色々作って出しています。ふれあい市に行って皆さんとおしゃべりをするのが楽しくてという生活をしています。

これからも、友達と温泉に行ったり、おいしいものを食べに行ったり、楽しみながら頑張っていこうと思っています。

